

1984年 10月25日

<毎月10日、25日発行>

第72号 4頁150円

定期購読料（1部22回）
手渡し 3000円／開封 3500円／密封 4000円

赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行 東京都新宿区西新宿3-5-3-406
電話(03)349-8598 東京7-86947
編集・発行人 北沢晋

関西赤路社
大阪市福島区大門1-19-13
副島ビル 電話(06)462-7030

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

二期決戦に勝利しよう

闘いの烽火あげよう

全国と三里塚を結ぶ臨戦体制へ

十・四横堀地集会は、運輸省・空港公園による八月一期着工宣言、九月成田用水行着工という事実上の二期闘争の火がさがきられる中で開催され、全國から四千百名が結集した。集会は九月二十五日からの一週間にわたる成田用水闘争の烈しく、熱い実力闘争の余韻が伝わり、最後まで戦闘的に催され、参加した全ての人々に、反対同盟十八年の闘いの伝統を受け継ぎ、一期の既成事実化を許さず共に一期を実力で阻止していく闘闘態勢がつづき、三里塚現地と結びつき全国で整える決意を打ち固めさせた集会となつた。

四千百名が結集

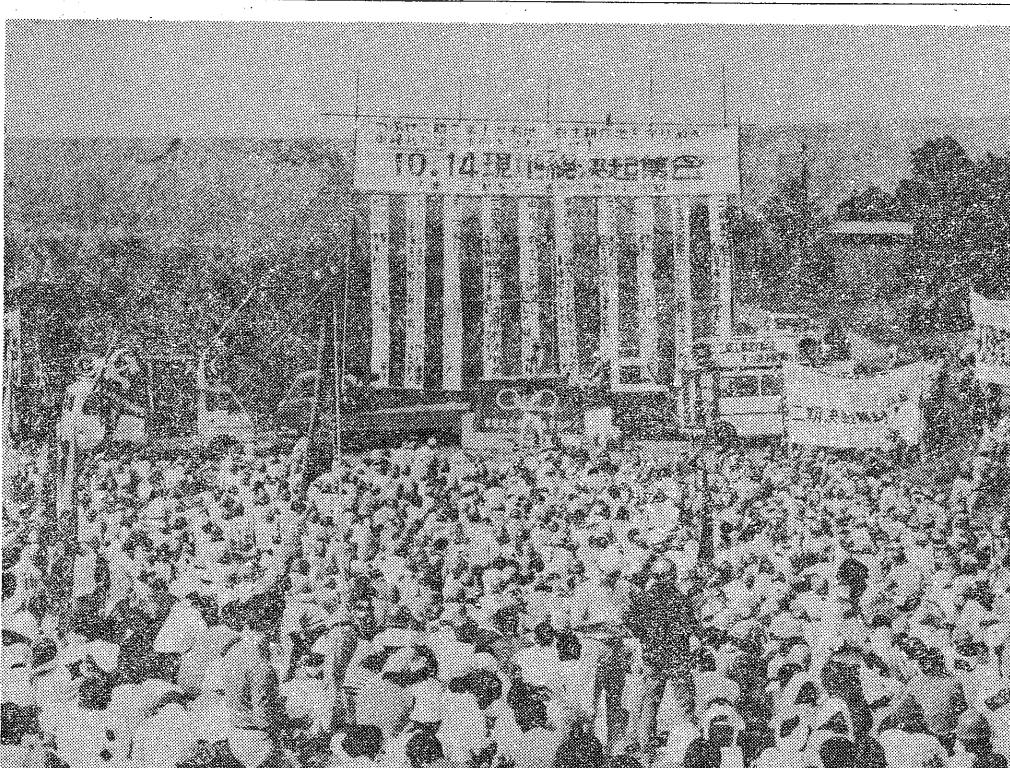
侵略と農地奪いに対する「抵抗」が続々結集した。
抗の大地上三里塚は、いまも実力攻防の緊迫した局面に突入した。
数日前の雨もあり、強烈な秋日の中、一期着工許さずやく千名の機動隊員が三里塚現地には、二期着工許さずやく千名の機動隊員の厳戒態勢下、全国から四千百名が結集した。

運輸省・空港公園は、八月二十八日、三里塚関係の二十年度予算の中に、初めて一期工事の開通予算、一千一百円を要求し、一期着工の方針を明らかにした。
九月十五日、六千機動隊を芝山町養鶏場地域に展開して住民生活を封じこめ、地域戒嚴令の下で「成田用水事業」に強行着手してきた。農民を分断し、用水本事への協力を強要する権力の暴力的介入を同様に徹底して糾弾するものである。

10・14
三里塚

集会宣言

着工宣言迎え撃て



侵略と農地奪いに対する「抵抗」が続々結集した。
抗の大地上三里塚は、いまも実力攻防の緊迫した局面に突入した。
数日前の雨もあり、強烈な秋日の中、一期着工許さずやく千名の機動隊員が三里塚現地には、二期着工許さずやく千名の機動隊員の厳戒態勢下、全国から四千百名が結集した。

運輸省・空港公園は、八月二十八日、三里塚関係の二十年度予算の中に、初めて一期工事の開通予算、一千一百円を要求し、一期着工の方針を明らかにした。
九月十五日、六千機動隊を芝山町養鶏場地域に展開して住民生活を封じこめ、地域戒嚴令の下で「成田用水事業」に強行着手してきた。農民を分断し、用水本事への協力を強要する権力の暴力的介入を同様に徹底して糾弾するものである。

集会宣言

着工宣言迎え撃て

侵略と農地奪いに対する「抵抗」が続々結集した。
抗の大地上三里塚は、いまも実力攻防の緊迫した局面に突入した。
数日前の雨もあり、強烈な秋日の中、一期着工許さずやく千名の機動隊員が三里塚現地には、二期着工許さずやく千名の機動隊員の厳戒態勢下、全国から四千百名が結集した。

運輸省・空港公園は、八月二十八日、三里塚関係の二十年度予算の中に、初めて一期工事の開通予算、一千一百円を要求し、一期着工の方針を明らかにした。
九月十五日、六千機動隊を芝山町養鶏場地域に展開して住民生活を封じこめ、地域戒嚴令の下で「成田用水事業」に強行着手してきた。農民を分断し、用水本事への協力を強要する権力の暴力的介入を同様に徹底して糾弾するものである。

九月二十五日から十月一日の間に現場において不正に逮捕された二十四名の同志を直ちに解放せよ。そして千葉県当局は当地域から機動隊を撤収し、このむだを破壊し、二期着工道をつける成田用水基盤整備事業を即刻中止せよ。また、東峰十字路陽書教死デッヂあれば裁判における青年行動隊一千六名を含む被告人

と共に一連の代執行闘争の勝利を期して闘いぬく決意である。認定取消訴訟において全面的に行き詰めていた裁判の主張を追認する判決

と並んで、二期着工宣誓は、第一に、方針を確立している。現地に

反対同盟と金支拂は、十一・四・三里塚闘争への決起が、その石碑宣言を発した。

大集会をもって、一期決戦の戦闘集会全体の諸特徴は、第一に、

反対同盟が、敵の用水攻撃や東峰裁判重刑攻撃などの重圧を克服して、戦闘態勢を整えたなどということ。

裁判所は、二期着工宣誓は、第一に、

反対同盟が、敵の用水攻撃や東峰裁判重刑攻撃などの重圧を克服して、戦闘態勢を整えたなどということ。</p

